



Helsinki ● St Petersburg
● Moscow

● Tokyo

フィンランド

- ロシアと欧州北部地域へのゲートウェイ



ニュースウィーク誌は健康と生活の質に関する高得点により、フィンランドを世界の「ベスト・カントリー」1位に選びました。

PHOTO: LEHTIKUVA/MARTTI KAINULAINEN

Dear Friends,

皆様はロシアでのビジネス展開を検討されていますか？
その際、どのように着手したらよいかで存じですか？
そこで、フィンランドに関心を向けていただきたい
5つの理由をお話します。

完璧なロケーション

表紙をご覧ください。フィンランドがどのような位置にあるかわかりになると思います。フィンランドは、日本から最も近い欧州の国で、飛行機で約10時間です。わが国はまた、急成長しているロシア市場に近く、活気ある北欧内に位置しています。これらの地域において消費財とサービスへの需要が急増していることが、日本の企業や投資家らに多大な可能性をもたらしています。1,340キロメートルというEU圏内でロシアとの最長の国境をもつフィンランドは、ロシアに関して、皆様に提供できる多くの専門知識を有しています。

もう1つの利点として、北欧諸国やバルト諸国を含め、バルト海沿岸地域近隣に住む総人口8,000万人の市場へはヘルシンキからのアクセスが容易です。

優れたロジスティクス

ロシア向け貨物全体の3割がフィンランドを経由しています。優れた保管施設を含め、わが国のロジスティクスサービスは、この増大する需要を満たすべく整備されてきました。われわれは、空路、鉄道、道路、海上を経由する迅速かつ信頼できる輸送を提供してい



ます。週あたり最大28便の直行便がEUと日本の3都市間で運行されているのはご存知のとおりです。バルト海の運航は、フィンランドの砕氷船のおかげで年間を通して維持されています。ちなみに、全世界の砕氷船の6割がフィンランド企業によって建設あるいは設計されています。われわれは、フィンランドのこうしたノウハウ(スノウ・ハウとでもいいましょうか!)のすばらしさを自負しております。

革新的かつ競争力のある環境

フィンランドは、イノベーションと優れた競争力から科学技術研究者の供給力にいたる様々な点において、国際ランキングトップを取り続けています。世界最高の教育システムを誇っているのは言うまでもありません。健康と生活の質に関して常に高得点を維持していることから、フィンランドはニュースウィーク誌によって世界の「ベスト・カントリー」としてランク付けされたほどです。

フィンランドはイノベーション志向で、とくにデジタルゲーム産業に関して強い関心をもっています。ムーミンがフィンランド生まれなのは多くの日本人に知られていますが、「アングリーバード」もフィンランド生まれであることを皆さんはご存知でしたか？

透明性のある政治制度

われわれが提供するビジネス環境の安定度は、世界でもトップクラスです。フィンランドは、汚職が最も少ない国のひとつです。わが国の政治活動は透明性が高く、フィンランドの公共部門は円滑かつ適正に機能していることで有名です。安全で適切に機能しているフィンランドのビジネス環境は、多くのロシア人がフィンランドへビジネスを移転するもう1つの理由といえるでしょう。

ロシアに関する専門知識

何世紀もかけて、フィンランドは東の隣国について知識を蓄積してきました。たとえば、この広大で他に類のない国の歴史、文化、社会および取引慣行に関してなどです。われわれは、ロシアへの輸出の仕方やロシア市場における事業の開設方法に関してトップクラスの人々、ビジネスサービス、および専門知識を皆様に紹介することが可能です。

次のページからは、皆様に提供できるサービスについて企業や機関による説明が続きます。皆様に関心を持っていただけることを信じています。

アレクサンデル・ストップ
欧州・貿易大臣

Finland: your way in - 篠田研次駐フィンランド日本国大使



皆様は「フィンランド」と聞いて何を連想されますか？

ヨーロッパの端に位置する、遠い北の国という印象でしょうか？

それともサンタクロース、ムーミン、オーロラなどのイメージでしょうか？

実はフィンランドが、ロシア市場、北欧・バルト諸国および欧州地域でのビジネス展開を考える日本企業にとり、最適な「パートナー」になり得る可能性を秘めた国であることをご存じでしょうか？

「パートナー」としてのフィンランド

フィンランドは、日本とは間に一つの国「ロシア」を挟むだけのほぼ隣国同士です。ユーラシア大陸を東西から挟む関係に位置しているともいえます。こういった地理的位置関係は、ロシア市場を巡る日本・フィンランド間のビジネス協力の可能性を高める大きな利点です。

フィンランドはロシアと長い国境で接し、歴史的にも様々な経験を経てきた経緯から、経済面でもロシアとの関係がとりわけ深い国です。なかでもサンクトペテルブルクやモスクワを含むロシア北西地域には、数多くのフィンランド企業が進出し、同地域に進出している他国企業と比較しても存在感のあるものとなっています。また、フィンランドの政府関係機関等もこれらを積極的に支援する体制をとっています。また近年のロシアの経済的成長に伴い、ロシア企業のフィンランドにおける活動も活発化し、ヘルシンキ・サンクトペテルブルク間が高速鉄道ALLEGROで3時間半で結ばれていることに象徴されるように、両国の経済関係は双方向的に重層的に発展しています。ロシアでの事業展開を試みる日本企業にとり、ロシア市場で確固たる活動基盤を有するフィンランド企業と連携し、その知見や経験・ネットワークを活用することは、魅力的な選択肢といえるでしょう。またこれは、日本、フィンランド、ロシア三カ国のビジネス・コミュニティにとって、まさに「ウィン・ウィン・ウィン」の結果をもたらすことになるのではないかと思います。

「ベース・キャンプ」としてのフィンランド

フィンランドの「パートナー」としての可能性は、ロシアだけを見据えたものではありません。フィンランドは、日本から最も近い欧州の国で、東京、名古屋、大阪と週28便（2013年9月現在）の直通航空路線で結ばれているヘルシンキは、ロシア北西部のみならず北欧・バルト諸国という欧州の中でも最も活力のある経済圏へのハブとなっています。すなわち二国間の関係だけでなく、フィンランド周辺を地域的アプロ

ーチで捉える場合、ヘルシンキは北欧・バルト諸国を含む西欧経済圏およびサンクトペテルブルク周辺を含むロシア経済圏双方の「扇の要」としての重要性を有しているといえます。またフィンランドの高い教育水準は日本でもよく知られていますが、これに基づく質の高い労働力、政府・産業界・大学をはじめとする研究機関間のネットワークを根底とする産学官連携、地域内でトップクラスの技術力、イノベーションに向けた不断の努力等が相まって、日本企業にとり好適で魅力的な環境が整っています。つまり、フィンランドは欧州へのゲートウェイとして、またロシアへのゲートウェイとして、日本企業にとっての「ベース・キャンプ」になり得る場所なのです。

重要な意味をもつ二正面アプローチ

フィンランドが日本企業にとっての欧州・ロシア地域を見据えた「ベース・キャンプ」になり得ると同時に、日本もロシア極東部や東アジア、東南アジアでの事業展開を望むフィンランド企業にとって、「ベース・キャンプ」として活用され得る素地を有しています。日本に拠点を置くフィンランド企業は、巨大な中国市場や成長を続ける東南アジア市場への近接性に加え、日本企業の持つ科学技術力や資本金、および比較的安定的な投資環境を享受することができます。このように、フィンランドを日本企業の対欧州・対ロシア（北西地域）の活動拠点とし、日本をフィンランド企業の対アジア・対ロシア（極東地域）の活動拠点とする「二正面アプローチ」は、日本とフィンランドの経済関係において有益かつ重要な意味をもつ見方といえるでしょう。

日本国大使館が「触媒」に

2012年末に発足した安倍政権では、長引くデフレを脱却し、日本経済の再生を成し遂げることを目的として、(1)大胆な金融政策、(2)機動的な財政政策、(3)民間投資を喚起する成長戦略の3本の矢を同時展開することで、イノベーションや新規事業が次々と生まれ、雇用と所得が拡大する「成長し続ける強い経済」を目指すことを最優先課題としています。なかでも、2013年6月に閣議決定された、第3の矢にあたる「日本再興戦略」では、成長実現に向けた3つのアクションプランの1つを「国際展開戦略」と定め、官民一体となって海外市場の獲得に向けて戦略的に取り組むとしています。在フィンランドの日本国大使館としても、日本とフィンランドのビジネス協力においていわば「触媒」となるべく、日本企業の海外展開を支援させて頂くことができればと思っています。フィンランドでの事業展開を考えておられる企業の方々におかれましては、お気軽にご相談下さい。

2013年10月



駐フィンランド日本国特命全権大使
篠田研次



日本航空は2013年7月1日より東京(成田)=ヘルシンキ間の運航を開始しました。

ヘルシンキはDestinationとしての魅力もさることながら日本と欧州をつなぐ玄関口としての役割にも大いに期待しています。今後ワンワールド・パートナーであるフィンエアと連携を強化し、ヘルシンキを拠点基地(ハブ)としてロシア、東欧、北欧の需要の取り込みを図りたいと思います。

小田洋一郎
日本航空株式会社 ヘルシンキ支店長

www.nl.jal.com/nll/ja/

PHOTO: TEKES/SUSANNA LEHTO

FINLAND, A GATEWAY TO RUSSIA | 5



Make Helsinki your European base with Finnair

ヘルシンキ経由のフライトで、欧州のビジネス市場に迅速かつ便利にアクセスしませんか？

フィンランド航空は、東西をつなぐ場所に位置しているホームグラウンドを、その強みとらえています。

フィンランド航空を利用すれば、東京（成田）・大阪・名古屋からヘルシンキまで毎日10時間足らずで到着でき、そこから欧州各都市への乗り継ぎもスムーズです。ヘルシンキがどこにあるか見ていただければわかるように、最終目的地がどこであれ、たいていヘルシンキの上空を飛ぶことになります。これは、フィンランド航空が、欧州周辺28カ所以上へのフライトを最速でお届けできる所以です。

日本人のお客様にさらなるおもてなしができるよう、日本発のフライトには必ず日本人の客室乗務員が搭乗しています。ヘルシンキ空港では日本語による案内サービスが掲示され、顧客サービスも日本語に対応しています。日本のパスポート保持者であれば出国審査に自動ゲートが利用でき、手続きにかかる時間を短縮できます。

フィンランド航空は、ワンワールドの加盟提携航空会社であるJALと緊密で機能的な関係を結んでいます。また、日本便に関して、フィンランド航空とJALはコードシェア運航しています。JALマイレージバンク会員のお客様は、フィンランド航空を利用することでポイントを集めたり引き換えたりすることができます。空港ラウンジや優先レーンといったサービスもご利用ください。

フィンランドー 国際ビジネスのための戦略的拠点

フィンランドは、拡大しつつある欧州北部の市場において、アクセスしやすい中心的な場所に位置しています。この地域は、8,000万人の消費者を抱えるのみならず、東方の市場への理想的な入り口でもあるのです。

FINNAIR

Itella Logistics

Your Secure Gateway to St. Petersburg



経験豊かなパートナーの助けを借りて
ロシアに進出しましょう。当社のロジ
スティクスサービスによって、ロシアにおけ
る皆様の事業運営をお手伝いさせて頂
くのがわれわれの仕事です。

Itella Logisticsは、サンクトペテルブルグからウラジ
オストクまで伸びるロジスティクス基盤をロシアに
整備し、倉庫保管・コンサルティング・規制対応に関
する総合的なサービスを提供しています。

ロシアでの豊富な経験をもつ理想のパートナー
ロシアにおける事業活動を強化する時期に來ている
と考えてはいるものの、面倒な手続き、安全性、イン
フラを懸念されているのなら、ロシアでの成功の秘
訣を熟知した経験豊かなパートナーと手を組むこと
が最善です。

Itella社は、1998年以降、さまざまな企業と提携して
きました。当社の税関業務サービス、規制対応サー

ビス、および現地に即したコンサルティングからさま
ざまなメリットが得られるでしょう。当社の有能なチ
ームは、疑問に答え、問題を解決し、お客様を安心さ
せる能力を備えています。

Itella Logisticsは、そのサービスの質と安全性が証
明されており、われわれは、同じ基準を守るよう当社
のサプライヤーネットワークに求めています。

ロシアにおけるマーケットリーダー

- ・ サンクトペテルブルグに2つの倉庫、その他ロシ
ア各地に15の倉庫
- ・ ロシアの160都市を結ぶ道路・鉄道・航空網
- ・ モスクワ、サンクトペテルブルグ、ロストフ、エカ

テリンプルグ、ノヴォシビルスク、サマラ、ウラ
ジオストク内の都市流通サービス
・ サンクトペテルブルグ、黒海、ロシア極東地域を
経由した国内向け貨物の取扱量

詳しくは、itella.com/logisticsにアクセスしてくださ
い。

**Itella社と建築・住宅リフォーム小売
リチェーン、Rautakesko社が国際
ロジスティクスで連携するノウハウ
を紹介するビデオをご覧ください。**



Allegro – by Rail from Helsinki to St. Petersburg in Just 3.5 Hours

高速鉄道ALLEGRO

ALLEGROは、ヘルシンキ – サンクトペテルブルク間を結ぶ最も便利で環境に優しい交通手段です。両都市の中心部から中心部までの所要時間はわずか3時間半です。走行中の列車内で越境手続きができます。両都市へ1日4便運行。2010年12月の運行開始以来、乗客数が急増しています。

列車で移動する際、仕事をしたり、あるいはただリラックスしたり、他の乗客と交流したり、美味しい食事を楽しんだりして、その時間を有効に活用できます。高速鉄道ALLEGROは、ファーストクラスとセカンドクラスのコンパートメント内にある無線インターネットサービス、ビジネス旅行者のための6人用コンパートメント、そしてレストランなどさまざまなサービスを提供しています。英語、フィンランド語、ロシア語を話すスタッフを配置しています。

www.vrgroup.fi

VR GROUP



PHOTO: VR GROUP

The E18 Development Corridor

– a Highway to the Russian Market



フィンランドを経由してロシア国内での事業展開を行うことは、中小企業の皆様にとっても好ましい選択肢といえます。ルートE18沿いに位置する都市は、優れたゲートウェイサービスを持つビジネスパークと工業団地を国際企業に提供しています。

ルートE18は、ノルウェーを起点としてスウェーデンを経由し、フィンランドからロシアへと東方に走り、サンクトペテルブルクまで伸びています。このルート沿いの都市には、オスロ、ストックホルム、トゥルク、ヘルシンキ、コトゥカ、ハミナ、サンクトペテルブルクなどが含まれています。ロシアの古いことわざによると、サンクトペテルブルクはロシアにとって「欧州への窓」であるが、西側から見ると、モスクワなどロシアの他都市へのゲートウェイ（

入口）でもあります。各都市を結ぶこの道路は経済開発回廊（Development Corridor）として分類され、この道路が提供するロシア市場獲得のための新たなチャンスが強調されています。フィンランドは、ルートE18の質を向上し、税関・越境手続きを迅速化するために多大な投資を行っています。YIT社はさまざまな倉庫・ロジスティクス・生産施設のための土地建物をE18回廊沿いに提供しています（たとえば、下記サイトで紹介しているGreenstate工業団地やK3 Logisticsなど）。



www.yitgroup.com

ロシアでの建設を検討中ですか？

われわれは、どんな建築物も、効率的にかつ皆様が要求される通りの高い水準で建設することができます。

フィンランドの建設会社はロシアの建設市場において確固たる地位を確立しています。われわれの強みのひとつは、ロシアの計画・規制・許可制度についての深い知識です。成功は経験とノウハウによってもたらされています。フィンランドの企業は、ロシア国内のパートナーとしても高く評価されています。ロシアにおけるリスクは、欧州や米国におけるリスクよりも高いですが、われわれと提携することでリスクを軽減できます。

フィンランドの建設会社がサンクトペテルブルクに占める市場シェアは、5－10%と推定されています。われわれは、長い年月をかけて必要な関係、信頼、専門知識を構築してきました。ロシアでは人間関係がきわめて重要であり、それをいかにうまく活用できるかが重要なポイントになってきます。



日本の電子部品メーカーである
村田製作所は、昨年フィンランドの
ハイテク企業を買収しました。

“ 半導体MEMSセンサの用途は様々な分野に広がっており、今後も大きく需要が伸びることが見込まれています。弊社では "Made in Finland" のセンサデバイスを世界中の顧客に提供していきます。 ”

後呂眞次
ムラタ・エレクトロニクス CEO

www.murata.com
www.murata.co.jp

PHOTO: TEKES/PASI HYTTI

ロシアに関する専門知識

フィンランド企業にはロシアで事業を展開してきた長い歴史があります。およそ600社のフィンランド企業がロシアに進出し、そのうち100社がロシアに直接投資をしています。これらの企業は、食品加工から建設やサービス、そして、北極圏に関する技術から環境技術にいたるまで、ロシア市場内のさまざまな部門で活動しています。

ロシア市場に参入するには入念な計画が必要であり、専門家からアドバイスを得ることが不可欠です。ロシア市場の内情に通じたフィンランド企業は、法律・会計サービスから市場分析に至るまで、最高かつ多様なサービスをロシアで提供できます。専門家が苦労して身に付けた経験を活用することで、時間と費用の節約につながります。

ロシアにおけるグリーンフィールドプロジェクトでは、土地の取得やインフラ（水道、電気、ガス、道路）整備に費用がかさむ上に、手続きも長引くことがあります。すでに利用可能な土地区画とインフラを備えた工業団地は時間節約への近道となります。フィンランドの建設会社YITは、サンクトペテルブルク国際空港に近いゴレロポにあるグリーンステート工業団地を運営しています。フィンランド系のもう1つの工業団地「I-Park Lemminkäinen」は、モスクワの南西約180キロの活気溢れるカラーガ州に位置し、多くの企業を誘致しています。

Ready for Russia?



PHOTO: SHUTTERSTOCK

フィンランド・ロシア商工会議所 (FRCC)

FRCCはヘルシンキ、モスクワ、サンクトペテルブルク、エカテリンブルグにオフィスを構えています。ロシアにおけるビジネスのあらゆる発展段階に対し、具体的なサービスを提供します。

導入 - ロシア市場参入の準備

ロシアでのビジネス活動を検討されているなら、どんなことでもFRCCにご相談ください。皆様の市場機会を調査し、潜在的顧客ならびにビジネスパートナーを探すとともに、ロシアのあらゆる場所に足を運び、有益なコンタクト先を見つけ、ビジネスオプションを紹介します。

成長 - ビジネスの花を咲かせる

マッチメイキングイベントやビジネスプロモーションツアーを開催し、新規顧客を見つけ、適切な流通経路を特定できるようお手伝いいたします。われわれは市場潜在力と競争状況を査定し、皆様のビジネスパートナーの信用調査も行います。サンクトペテルブルクとモスクワだけでなく、FRCCと共にロシアの他の成長著しい地域も探ってみてはいかがでしょうか。

現地進出 - ロシアで成功する

われわれは多様なサービスを備え、皆様がロシアで会社を立ち上げるサポートをします。いつでも法的事項のアドバイス、労働許可の代理取得、人材と経理管理、スタッフ募集、異文化問題に関する指導など、様々な事項についてサポートする準備ができています。



ミサワホームズ オブ フィンランドは、ミッケリ市に1994年に創業しました。サステイナブルなフィンランドの原木を製材し、日本へ輸出しています。

“ 私たちがフィンランドにて約20年に渡り、安定的に業務を行うことができた最大の理由は、フィンランドの非常に高いレベルの木材マネジメントシステムにより、環境に配慮し、かつ高品質の木材が調達可能であったことです。あわせて、実直で勤勉なフィンランド人従業員や協力業者の支えと、お互いの信頼関係を構築できたことも大切なポイントです。”

林一志

ミサワホームズ オブ フィンランド株式会社
代表取締役

www.misawa.co.jp
www.misawa-homes.com



IT技術で1位

世界経済フォーラムが発表した「2013年版世界IT報告」でICTの経済成長および労働における影響を分析。同報告書の中核であったネットワーク準備度指数(NRI)では、競争力と福祉の向上にICT利用の準備が最もできている国としてフィンランドがトップに輝きました。

www.weforum.org

競争力で3位

フィンランドは、世界経済フォーラム発表の「2013-2014世界競争力報告」で3位になりました。同報告書は148カ国の競争力を測り、生産性と繁栄のもととなる要因をまとめています。フィンランドよりも上位に入ったのはスイスとシンガポールでした。

www.weforum.org/issues/global-competitiveness

子供の幸福度で上位

2013年4月にユニセフが発表した、先進国29カ国で行った調査「先進国の子供の幸福度」でフィンランドは4位になりました。この調査は、物的状況、健康と安全、教育、行動とリスク、住宅と環境の5つの側面で幸福度を測定しています。

www.unicef.or.jp

世界で最も汚職の少ない国

トランスパレンシーインターナショナル発表の「2012汚職度指数」で、フィンランドはデンマーク、ニュージーランドと共に最も汚職の少ない国として1位になりました。

www.transparency.org/cpi2012

スムーズに機能している国

2013年破綻国家指数で、フィンランドは3年連続で最もよく機能している国に選ばれました。この指数はフォーリン・ポリシー誌とファンド・フォー・ピースが共同で毎年発表しています。

www.foreignpolicy.com

人的資源で2位

2013年、世界経済フォーラムの人的対象に源指数で2位になりました。同指数は122カ国を評価し、教育、保健、雇用、環境の4つの分野で、それぞれの国がどれだけ健康で教養および能力の高い人材を育成できるか評価しました。

www.weforum.org/reports/human-capital-report

革新力で6位

2013年度版グローバル・イノベーション・インデックスによると、フィンランドは6位でした。同レポートはコーネル大学、INSEAD、および国連の世界知的所有権機構が共同で発表しています。2013年の報告で最も上位に輝いたのは、スイス、スウェーデン、イギリスでした。

www.globalinnovationindex.org/content.aspx?page=GII-Home



PHOTO: CENTOS CENTRAL LOGISTICS FINLAND OY

ロシア国境近くの自由貿易圏 の施設

屋内スペース

65ヘクタール – 東京ドーム約14個分の面積に相当

屋外スペース

190ヘクタール – 東京ドーム約40個分の面積に相当

www.straightway.fi

Thinking Logistics?

フィンランドには、近代的なロジスティクス・通信ネットワークだけでなく、機能的なインフラも備わっています。国際化が進んだフィンランドビジネス界の共通言語は英語です。フィンランドの地理的位置と発達したインフラにより、東西間の便利なロジスティクスゲートウェイを提供します。

STRAIGHTWAY FINLAND – ロジスティクス企業と港湾のためのマーケティングネットワーク(会員数50社以上)

- あらゆる輸送サービス: 道路、鉄道、海上、航空
- 倉庫保管・運送・付加価値サービス
- 事業の立ち上げと当地域への定着に関するアドバイス

フィンランドの経済開発回廊 (Development Corridor)の主な強み

- ロシア国境に近接する欧州最大の自由貿易圏
- EU圏内で大量の在庫保管が可能な安全な場所
- VAT (付加価値税) など自由貿易圏からロシア／CIS (独立国家共同体) への輸送に伴う税金の免除
- モスクワに48時間以内、サンクトペテルブルクに8時間以内に到着可能
- 毎日出航のフェリー便によって欧州のすべての主要な港に60時間以内に到着可能
- 最高の質を誇る港湾オペレーション、IT技術の利用、道路・鉄道・航空輸送、および設備





PHOTO: SONMARIN OY

拠点を定め、事業立ち上げを
サポート

オフィス、倉庫または産業用地が必要なお客様
に、ニーズを満たす解決策をお探しします。

THE INTELLIGENT WAY TO MOVE

“ ロックラは、最先端の物流ソリューションとサービスを皆様にお届けするパイオニアとして、欧州で高く評価されています。ニチュ三菱フォークリフト株式会社は日本の物流機器のパイオニアとして高い評価を得てきました。私たちの製品とサービスは、皆様の物流課題を解決し、その成功をお約束します。 ”

田中 信之
ロックラ 副社長

www.rocla.com



PHOTO: BROUFOTO/THOMAS BROUMAND



PHOTO: STEP



THIS IS TECHNOPOLIS

TECHNOPOLISは、企業が自社のコア・コンピテンス（中核的な技術や能力）に重点的に取り組めるよう近代的なビジネス環境を提供しています。

The Right Address for Success

Technopolisは、ナスダックOMXヘルシンキ証券取引所の上場会社で、スマートビジネスパークを開発・所有・運営しています。Technopolisは、フィンランド、ロシア、エストニアおよびリトアニア内の11都市に19の事業用地、1,400余りの顧客を有しています。革新的な大手不動産会社として、従来の方式にとらわれないサービスを提供しています。

- ・ オフィス関連のビジネスサービスや従業員福利厚生サービスを通じて、付加価値のあるビジネス空間を提供しています。
- ・ 専門の担当チームがお客様と直接関わり、問題解決、業績の最適化、ビジネス成長のサポートをします。
- ・ 時間単位の賃貸ワークステーション、何千平方メートル規模の土地建物、作業空間プランニングや資産賃貸による基本的なオフィス空間の提供、マッチメイキングなど、われわれは多様なビジネス空間とサービスを提供しています。

- ・ 顧客管理や技術的問題解決などのあらゆる面において、ご期待を上回る最高のサービスを提供すべく尽力しています。
- ・ フィンランド、ロシア、バルト諸国において安定的かつ信頼できるビジネス環境を提供しています。すべての事業用地がTechnopolisの高い基準を満たすよう設計され、運営されています。

ロシア市場は非常に高い潜在的成長力を持っています。Technopolisの事業用地をプラットフォームとして使用することで、ロシア市場への安全で費用対効果の高い、容易なアクセスが可能となります。当社は、サンクトペテルブルク、タリン（エストニア）およびヴィリニュス（リトアニア）のみならず、フィンランド各地にもビジネス用地を整備しています。

TECHNOPOLIS

www.technopolis.fi





A Transparent, Competitive and Innovative Environment



PHOTO: LEHTIKUVA/ANTTI AIMO-KOIVISTO

フィンランドこそ賢い選択

ロシアはフィンランドにとって最も重要な貿易相手国です。また、皆様にとってもロシアは重要な貿易相手国になりうるでしょう。ロシアとの取引の際には、フィンランドのパートナーと連携することで、自身のコアビジネスに集中することが可能になります。

フィンランドは経済的および政治的に安定した社会です。わが国は1995年にEUに加盟しました。フィン

ランドはユーロ圏に属し、ユーロを通貨としています。わが国の活気あるビジネス環境は、外国の投資家や企業に対し、事業展開のために革新的かつ透明性の高い拠点を提供することができます。

われわれフィンランド人はロシアとの長い国境を利点と考えています。われわれは、ロシアにおける事業の立ち上げやその拡大を目指す企業に対し、信頼できる輸送・倉庫保管サービスを提供しています。

INVEST IN FINLAND – ビジネス機会とコンサルティングサービス

Invest in Finlandは、専門家によるコンサルティングサービス全般を提供しています。われわれは、顧客のニーズに合わせたハンズオン（育成型）投資サービスを提供しています。当機関のサービスは、初期データ収集や機会分析から、ネットワークづくりや事業の開始まで、フィンランドでの事業立ち上げのあらゆる段階に対応しています。

ロシアとの、そして北欧内での長年に及ぶビジネス経験や、近隣諸国との歴史的および文化的な深いつながりなどにより、われわれには貴重な洞察力と知識が蓄積されています。EUからロシアへの通過貿易量の大半がフィンランドを経由しています。わが国の鉄道網はロシアと同一のレール幅を使用しているために、国境通過のために鉄道車両を改良したり、貨物を積み替えたりする必要がありません。

外資系企業も、フィンランド政府の投資奨励策から恩恵を受けることができ、かつ、フィンランドの大学と民間との間の広範囲に及ぶ連携から得られる、最新の研究結果をご利用いただけます。

www.investinfinland.fi



Dark. Cold. Slush on the ground. But cool startups inside!

Slushは、北欧とロシアにおける最大級のスタートアップイベントです。年に一度ヘルシンキにおいて、将来有望なスタートアップ企業を集め、一流のエンジェル・インベスター、ベンチャー投資家および世界のメディアとの交流の場を提供しています。

ベストな方法で事業立ち上げ

Slushは何百もの有望なスタートアップ企業を引きつけています。そのうち半数以上がフィンランド以外から参加しています。たとえば、2012年には100を超えるロシアのスタートアップが参加し、2013年にはさらに多数の参加者が予想されています。

Slushは、新規事業立ち上げ企業に対し、北欧、バルト諸国、ロシアの名の知れた連続起業家や有力なエンジェルインベスターと接触する機会も提供しています。われわれは、投資家と企業をただ同じ場所に集めるだけでなく、1対1のミーティングによって各企業が最適な投資家を見つけられる機会を確保しています。



さらに、あらゆる関連メディアや世界の主要メディアを含む第一線のジャーナリストが、記事に取り上げる新規企業や新たな傾向を見極めるためにSlushに参加しています。

3,500人以上の来場者、600社以上の企業、450人以上の投資家とメディアが2012年のSlushに参加しました。2013年11月13日－14日に開催されるSlushはさらに規模が拡大し、より優れた内容かつ意欲的なものとなることが予想されています。

Slushを毎年開催するStartup Saunaは、成長の初期段階にある企業のために活動する、ヘルシンキを本拠地とするシードアクセラレーターです。世界の大学ビジネスインキュベーターとして「ヤング（5年未満の運営）部門」で受賞しました。

詳しくはwww.slush.fiおよび
www.startupsauna.comをご覧ください。

SLUSH

SLUSH 2013

2013年のSLUSHは、11月13-14日にフィンランドの首都ヘルシンキにて開催。
詳しくは www.slush.fi もしくは
miki.kuusi@slush.fi までご連絡ください。

PHOTO: SLUSH

FINLAND, A GATEWAY TO RUSSIA | 21

photo: Peter Forsberg

Helsinki Airport a gateway between Russia and Japan

Finaviaが運営するヘルシンキ空港は、年間利用客1500万人の北欧をリードする国際空港です。地理的にヘルシンキ空港は、アジアと欧州を結ぶ最短ルート上にあります。アジア地域への直行便は13本。北欧で最もアジアと往来のある空港です。日本へもヘルシンキから毎日4便、東京、大阪、名古屋に飛んでいます。

ヘルシンキはモスクワ、サンクトペテルブルク、エカテリンブルク、さらに北欧諸国はもとより欧州の国々との接続に優れています。

すべての乗り継ぎが、できる限りスムーズで効率よく快適にできるように計画されています。全ゲートが同じ建物内にあるためゲート間の移動距離は短く、乗り継ぎ時間は35分あれば充分です。ヘルシンキ空港には無料かつ無制限で利用可能な高速Wi-Fiサービス、

世界でもトップクラスのラウンジ、快適なリラクゼーションエリア、EU/EEA諸国、日本、もしくはスイスが発行するICパスポートをお持ちの方向けの自動国境検問システムが備えられています。

ヘルシンキ空港では、ターミナルのレイアウトやバゲージ・ライン、アートギャラリー、レストラン、そして保安手続きまでも、スムーズな旅行のためにすべて入念にデザインされています。

FINAVIA
for smooth travelling

FINAVIA

Finaviaはフィンランド内でヘルシンキ空港および24の地方空港を運営しています。Finaviaは安全性、お客様のニーズ、コスト効率に配慮したエアポートサービスを提供し、より強化しています。また、乗客と荷物のセキュリティチェックの管理、滑走路の維持、そして安全な離陸、着陸の確保に努力しています。われわれは、環境の持続可能性を優先しています。

www.finavia.fi/en
www.helsinkiairport.fi



Lähtevä liikenne Avgående trafik Departures

12:55	KF555	London Heathrow	3
13:20	EI629	Dublin	3
13:50	AY169	St. Petersburg	3
13:50	U28968	London Gatwick	3
13:55	TK1756	Istanbul	
14:05	AY839	London Heathrow	
14:05	AY2417	Toronto	
14:10	AY005	New York	
16:00	AY833	London Heathrow	
16:00	AY937	Manchester	
16:40	AY067	Hong Kong	
17:10	AY057	Shanghai	
17:20	AY073		
17:20			

PHOTO: LEHTIKUVA/VILJA VEHKAOJA/KIMMO MÄNTYLÄ

読者の皆様へ

いかがでしたか?フィンランドについてお伝えでき、皆様のビジネスのお役に少しでも立てたなら幸いです。

ヘルシンキでお待ちしています。

アレクサンデル・ストゥップ





PHOTO: TEKES/ MARKUS SOMMERS



PHOTO: LEHTIKUVA/JUERGEN FEICHTER



PHOTO: TEKES/EEVA ANUNDI

フィンランド

- ロシアと欧州北部地域へのゲートウェイ

Embassy of Finland

フィンランド大使館広報部

106-8561 東京都港区南麻布3-5-39

tel 03-5447-6000 fax 03-5447-6042

sanomat.tok@formin.fi

www.finland.or.jp

www.facebook.com/FinnishEmbassyTokyo

www.twitter.com/FinEmbTokyo

印刷Erveko | レイアウト Hurraa Advertising Agency | 表紙写真 Gorilla/Jan Strandstrom

Finpro

フィンランド大使館商務部(フィンプロ)

106-0047 東京都港区南麻布4-2-34

天現寺スクエア6F

tel 03-6859-6810 fax 03-6859-6811

japan@finpro.fi

www.finpro.fi/web/english-pages/global-locations/

japan



MINISTRY FOR FOREIGN AFFAIRS

FINLAND
team



INVEST IN FINLAND



EMBASSY OF FINLAND
TOKYO